

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	老年看護学概論	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(30H)	学 期	第2学期
担当講師	高崎 麗華 (臨床経験23年、教育経験12年)				
科目目標	1. 老年期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴とその健康課題を理解する。 2. わが国の高齢者を取り巻く保健・医療・福祉対策を理解する。 3. 老年期の対象者を尊重する態度・老年観をもつ。 4. 高齢者に対する健康的な生活支援の看護を理解する。				
授業概要	<p>第1回 老年期の理解 1) ライフサイクル 2) 老年期の発達と成熟 3) 生活の変化 4) 高齢者の多様性</p> <p>第2回 高齢者の健康 1) 加齢に伴う変化(身体的機能、精神的機能) 皮膚とその付属器、循環器系、呼吸器系、消化器系、運動器系 (GW)</p> <p>第3回 高齢者の健康 1) 加齢に伴う変化(身体的機能、精神的機能) 皮膚とその付属器、循環器系、呼吸器系、消化器系、運動器系 (GW)</p> <p>第4回 高齢者の健康 1) 加齢に伴う変化(身体的機能、精神的機能、社会的機能) 視覚、聴覚、ホルモンの分泌、泌尿生殖器系</p> <p>第5回 高齢者の健康 1) 高齢者疑似体験 (演習) 2) 身体・精神・生活の連動 3) 加齢への適応 (GW)</p> <p>第6回 老年看護の特徴 1) 高齢者の人生の質の保証 2) 老年看護の基本 3) 高齢者看護の倫理 3) 理論・概念の活用</p> <p>第7回 高齢者の生活を支える看護 1) 高齢者の生活アセスメント 2) コミュニケーション 3) 歩行・移動 4) 食生活 5) 排泄</p> <p>第8回 高齢者の生活を支える看護 1) コミュニケーション 2) 転倒・転落 (演習) 3) 清潔・衣生活 4) 活動休息 5) 性(セクシャリティ) 6) 社会参加 7) 高齢者インタビュー (演習)</p> <p>第9回 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護 1) 廃用症候群 2) 摂食・嚥下障害 3) 栄養 4) 掻痒症 5) 便秘・下痢 6) 睡眠障害 7) 視覚障害 8) 骨粗鬆症 9) 骨折 10) 感染症</p> <p>第10回 介護保険・医療保健と老年看護 1) 地域包括ケアシステムの構築 2) 介護保険制度の整備 3) 高齢者の施設サービスにおける看護 4) 高齢者の居宅サービスにおける看護 さまざまな健康状態や受療状況に応じた高齢者の看護 1) 急性期の高齢者への看護 2) 慢性期の高齢者への看護 3) 回復期への高齢者の看護 4) 外来を受診する高齢者への看護</p> <p>第11回 高齢者を介護する家族への援助 1) 介護する家族の生活と健康 2) 介護する家族への援助 事例検討 (GW) 「高齢者の身体拘束について考える～倫理的視点から～」</p> <p>第12回 高齢者の終末期の看護 1) 高齢者の死に関わる権利の擁護 2) 健康障害を持った高齢者と加齢の変化に伴った高齢者の終末期の看護の実践、3) 家族への援助</p> <p>第13回 高齢者の対象の状況に応じた日常生活への援助 (GW) 事例に合わせた援助計画立案</p> <p>第14回 高齢者の対象の状況に応じた日常生活への援助～SP演習～ (演習)</p> <p>第15回 高齢者の対象の状況に応じた日常生活への援助～SP演習～の振り返り (GW) 終了試験</p>				
看護師国家試験出題基準	老年期の定義・意義、加齢と老化、役割と社会活動・余暇活動、家族構成、就労・雇用、収入・生計、老年期の発達課題、人格と尊厳 喪失体験と適応、生活史、価値観、老年期の健康の捉え方、高齢者の健康の特徴、生きがいと満足感、サクセスフルエイジング 高齢者と家族のライフスタイル、要介護高齢者と家族介護、高齢者の単独世帯の介護、高齢者と夫婦のみの世帯の介護 高齢者と未婚者のみの世帯の介護、ノーマライゼーション、自立支援とエンパワーメント、高齢者虐待、安全確保と身体拘束				

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	老年看護学概論	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(30H)	学 期	第2学期
担当講師	高崎 麗華 (臨床経験23年、教育経験12年)				
看護師国家試験出題基準 ニード論、セルフケア不足理論、ストレングスモデル、コンフォート理論、ICF、CGA、BADLとIADL 障害高齢者の日常生活自立度<寝たきり度>判定基準、認知症高齢者の日常生活自立度<寝たきり度>判定基準 コミュニケーション能力とアセスメント、高齢者とコミュニケーション方法、生活リズムの調整、事前指示、リビングウィル エンドオブライフケア、身体徴候のアセスメントと看護、苦痛の緩和と安楽への看護、臨死期の評価と看護、グリーフケア 介護療養型医療施設の特徴と看護、介護老人保健施設の特徴と看護、介護老人福祉施設の特徴と看護 認知症対応型生活介護の特徴と看護、小規模多機能型介護の特徴と看護					
授業の進め方 加齢に伴う変化や生活史などの演習を取り入れながら高齢者の状況を身近に感じるように進める。 アセスメントができるように高齢者の特徴を繰り返し学習する。					
履修のポイント・留意事項 加齢に伴う変化を知り、高齢者の健康状態の理解を深め、高齢者看護の特徴と役割を理解する。 自分なりの老年観を述べる。 この科目では、老年看護援助論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲへつながる老年期の対象を理解するための基礎となる学習をする。					
テキスト 系統別看護学講座「老年看護学」医学書院 看護実践のための根拠がわかる老年看護技術 メヂカルフレンド社 厚生指標 国民衛生の動向 一般財団法人厚生労働統計協会					
評価方法・配点 終了試験(100点)、課題レポート、グループ活動への参加状況で総合評価する。					